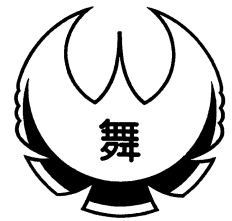


光とまらく

舞鶴支援学校通信
令和4年度第9号
発行
令和5年1月10日
TEL 0773-78-3133



<http://www.kyoto-be.ne.jp/maizuru-s/>



「クリスマス寒波」で国内各地から積雪に関する深刻なニュースが報じられる中、ここ舞鶴は前の年に比べれば随分穏やかに新年を迎えることができました。今年も本校教育への御協力をよろしくお願い申し上げます。

昨年の、安倍元首相襲撃事件、ロシアのウクライナ侵攻などの衝撃的なニュースと、その影響を大きく受けた政治・経済の数々の問題が、私たちの生活にも暗い影を落としています。加えて、3年に及びたくさんの我慢を続けている新型コロナウイルス感染症についても、決定的な対応策はいまだに見いだせないまま何とか共存を図るしかない状況にあり、リスクの許容範囲を探りながら生活を営んでいる感のある1年でした。毎年発表される「今年の漢字」(公益財団法人「日本漢字能力検定協会」発表)として、アメリカ同時多発テロ発生の2001年と同じ『戦』の文字が選ばれ、1年の象徴がこれでは元気が出ないなあ、と感じるのは私だけではないでしょう。

ある新聞社の「2022年の10大ニュース」には、そうしたニュースの多い中、「ワールドカップサッカー・16強」「2桁勝利・2桁本塁打(大谷翔平選手)」「村神様・三冠王(村上宗隆選手)」「北京五輪・日本選手最多メダル」といった、何度でも繰り返し見たいスポーツの話題も取りあげられています。このコロナ禍で、アスリートたちも思いのままに準備ができない時期を過ごしながらか、モチベーションを保ち、さらに高め、想像を絶する工夫と努力を重ねて“その瞬間”に照準を合わせてきたことを想像し、思い切り感情移入して画面に見入るときには、暗いニュースなどすっかり忘れていきます。勝利、敗北、成功、失敗…突きつけられる何らかの結果がどうであったとしても、見る者それぞれが無責任に意味づけをしながら、感動の余韻に浸ることができます。それが“自分には到底できないことを成し遂げようとしている”であったり、“自分もあんなふうになりたい”であったり、ストーリーは無限に広がっていきます。どのニュースにも人が関わっている中、目標に向けて極めてシンプルに研ぎ澄まされた「生身の人間」が限界に挑む『スポーツの力』は改めて偉大ななあと思います。

華々しい話題の裏で、「生身の人間」であるが故に第一線から退く人もあり、体操の内村航平選手もそのひとりです。「世界で一番練習した者が世界一になる。」…一流といわれる多くのプロフェッショナルと同様、彼の言葉はとてもシンプルです。そして、東京オリンピック、得意競技の種目別・鉄棒で思わぬ予選落ちをした後、深く落ち込む中で導き出した答えは「“努力は裏切られない”それを証明するために僕は体操を続ける。」だったといい、2021年、最後の世界選手権では万全な体調ではない中で会場一番の拍手と歓声を受ける演技を披露し、「メダルを獲れなかったけど、鉄棒選手の中ではお客さんを一番味方につけた。今まで世界一になって引っ張ってきて、結果以上のものを体操で出したいと思っていた。今日、それができてよかった。」と語りました。そして、昨年3月引退イベントで「新しい一歩を踏み出すので凄く前を向いています。」と、今後の体操の普及活動などへの意気込みを語りました。やり切ろうとしたことをやり切った、そしてさらに次へ…自分とは通っていく道筋は似ても似つきませんが、たとえ小さなステップ、目標でもそんな風にクリアしていきたいものです。

さあ、今年はどうなる年になるのでしょうか。自分の心の持ち様でどのようにも結論が変えられるものについてはまたひとつひとつ頑張ってみよう、と思いを新たにす年の始めです。

今年もよろしくお願い申し上げます。



校長 山本 直之

小学部の学習の様子

学部集会 「クリスマス会をしたよ！」

約2年ぶりの開催となった小学部集会。集会に向けて各学級で事前学習を行い、クリスマスプレゼントを作って、心待ちにしていました。

当日は児童が作ったツリーが飾られていたり、楽しい音楽が流れたりする中、クリスマス会が始まりました。集合ゲームやパラバルーン等を通して学級を越えた交流を深めました。そこへ、トナカイがそりを引いてサンタクロースと共に登場！「サンタさんだー！」と会場は大盛り上がり。トナカイやサンタクロースとダンスを踊り、中には友達と手をつないでリズムに乗る児童もいました。そして、待ちに待ったプレゼント交換。音楽に合わせてプレゼントを回し、自分の手元に来たプレゼントに喜びの声が上がりました。「楽しかったねー！」「また遊びたいね。」と早くも次の集会を楽しみにしている児童も多くいました。

合同遊び 「みんなで仲良く遊ぼう！」

昨年10月から今月まで小学部全体を4グループに分けて合同遊びの学習に取り組んでいます。

低学年の「ぐんぐんグループ」では、わっかとりゲームやオセロゲーム等に取り組んでいます。勝敗を意識したり、負けて悔しくても気持ちに折り合いをつけたりとそれぞれのねらいに応じて活動しています。

9・10組の「のびのびグループ」では、「ようかいむらであそぼう！」と題して、「おばけれっしゃ」に乗ったり、紐を引っ張っておばけを見つけたりしています。行き先をペアで相談できるようになってきた児童もいます。

高学年では、追いかけて玉入れというカゴを背負った指導者が走り、そのカゴへ玉を入れる遊びをしました。児童はカゴをめがけて全力疾走！狙いを定めて一生懸命走り回って体を動かしています。

もう一つのグループでは、玉運びなどペアで活動する遊びにも挑戦しました。回数を重ねるにつれて相手のペースに合わせてたり、力を合わせてたりして運べるようになりました。

今後も、友達と楽しく遊ぶ中で学びを深められるよう指導していきます。



楽しいイベントに会場は大盛り上がり！



自分のチームの色に返します。



どこにおばけはいるかな？



友達と息を合わせて！

中学部の学習の様子

4・5・7組 音楽「元気！にこにこ笑顔」 作曲家から演奏家へ！

4・5・7組合同音楽では、作曲、合奏に取り組みました。3チームに分かれ、それぞれ8小節ずつを担当し、リズムや音を組み合わせるメロディーを作っていました。3チームの考えたメロディーをつないでイメージに合った曲名を全員で考え、「元気！にこにこ笑顔」に決定しました。ピアノ・キーボード・木琴・鉄琴・打楽器を分担し、リズムや音を覚えて演奏しました。それぞれの楽器が合わさると、軽快で楽しい響きになり、曲名どおり、元気なにこにこ笑顔でいっぱいになりました。

初めての作曲活動に興味をもって取り組むことができ、自分たちで作った曲を演奏する楽しさも味わうことができました。



みんなで協力して曲を作りました。合奏すると素敵な響きになりました。

1・2年生 総合的な学習の時間 「レッツ！エンジョイ！冬の季節！」

12月の総合的な学習の時間では、体験的な活動によって「冬の季節」の訪れを楽しむことをねらいに、クリスマスやお正月の行事にちなんだ飾り（クリスマスリース・絵馬）作りに1・2年生全員で挑戦しました。

活動開始前に「キレイなリースを目指そう！」「絵馬ってどんなものかな？作ってみたいな～」と興味津々だった生徒たちは、材料の形・色に自分らしい工夫を凝らしながら作品作りに取り組みました。そして自分自身で実際に作り上げることで達成感とともに、「冬の行事にはこんな飾りがあるんだな～」と理解が深められた様子でした。

今後も、身体や五感を使った体験的な学習を行い、日本の四季や季節の移り変わりについて知ることができるように指導していきます。



色遣いを考えたり願いを込めたりすることで素敵な作品に仕上げました。

3年生 「進路学習」に取り組んでいます！「目指せ高等部！」

3年生は、高等部へのスムーズな移行や高等部への進学に向けた意欲を高めるために、総合的な学習の時間で筆記試験や面接試験の練習を行っています。

面接練習では、「良い姿勢」「礼のスピードや角度」「丁寧な言葉遣い」「声の大きさ」など、一人一人が目標をもって取り組みました。はじめは、普段と違う丁寧な動作に戸惑いや緊張で手が震える姿も見られましたが、練習を積み重ね、礼に凛々しさが増し堂々と挨拶できるようになりました。

3学期も、進学に向けて目標を立て、自信をもって取り組めるよう継続して進路学習を進めていきます。



質問をよく聞いて、的確にこたえられるよう、練習しています。

高等部の学習の様子

1・2組 合同クリスマスコンサート！「小・中・高でよい交流ができました！」

小学部9・10・11組と中学部7組、高等部1・2組合同で、クリスマスを題材にしたコンサートを12月15日（木）にリモートで実施しました。

サンタさんやトナカイも登場し、一緒に「♪ジングルベル」と「♪あわてんぼうのサンタクロース」の曲を合奏しました。児童生徒たちは今まで頑張ってきた得意な楽器、ドラムや鈴、ツリーチャイムなどを使い、一生懸命鳴らす姿が見られました。

高等部の発表は学校祭で取り組んだ「♪カリンカ」のスカーフダンスをしました。自信をもって発表する先輩のカッコイイ姿を見て、後輩たちが大きな拍手をしている様子が見られたり、クリスマスカードを交換して嬉しそうな表情を浮かべたりと、とても良い交流となりました。



素敵なクリスマスカードのプレゼントにうっとり♪

3・4・5組 総合的な探究の時間 「みんなで楽しく遊ぼう！！」

総合的な探究の時間では、みんなで楽しく遊べるゲームを考える「めちゃハピタイム」に取り組みました。「ボールは大きい方がいい。」「手をつないで一緒に歩こう。」「みんながやりたい遊びを合わせたら楽しい。」などと話し合いでは友達のことを思いやった意見がたくさん出ました。

実際に、自分たちが考えたゲームをすると、みんながとてもよい笑顔で遊んでいました。遊んでいるときに、「大丈夫？」と相手を思いやる姿も見られました。最後には、みんなが「楽しかった！！」と振り返ることができ、一人一人がとても充実した表情でした。



楽しく遊ぶために必要なことを話し合っています。

「京しごと技能検定(パソコン実務検定)」に挑戦しました！

12月8日(木)に、京しごと技能検定(パソコン)が本校で行われ、生活自立コースの20名と職業自立コースの4名の生徒が受検しました。

生活自立コースでは、教科「情報」の中で取り組んできた日頃の学習の成果として「速度」を中心に身に付けた力を発揮しました。

職業自立コースでは、「清掃」「接客」「パソコン」の中から1つを選択して自主的に取り組み、教えてもらうだけでなく、自ら考えて課題解決をしたり技能を身に付けたりします。

パソコン検定では、早く正確に文章を打つ「速度」、一定の書式に沿って文章を作成する「文書作成」の2項目で検査が行われ、毎回授業では、自分で考えて課題に取り組みました。



より上の級がとれるように、一生懸命に取り組みました！

全校での取組の様子など

車椅子バスケットボール講習会 競技の「楽しさ」や「難しさ」が体験できました！

12月8日(木)に、阪根泰子さん(アテネパラリンピック車椅子バスケットボール日本代表)をお招きし、車椅子バスケットボール講習会を実施しました。感染予防対策を徹底し、午前・午後2回に分けて小学部・中学部・高等部計41名が参加しました。

お話の冒頭「早く仲良くなりたいので“やっさん”と呼んでね。」と自己紹介され、一気に児童生徒との距離が縮まりました。その後、車いす生活になった当時のお話や、車椅子バスケットボールを始めたきっかけなど、映像を使って紹介され、児童生徒は“やっさん”のお話に引き込まれ、真剣に耳を傾けていました。

体験では、競技用車椅子を使って車椅子鬼ごっこやバスケットボールのゲームを行い、シュートが決まるたびに歓声が上がりました。実際に体験することで競技の「楽しさ」や「難しさ」などだけでなく、ルールを少し変えることで誰もがプレーすることができるということも学びました。

阪根さんの「できないとあきらめず、工夫しながらチャレンジし続けることで得た自信をもって生活してほしい。」というお話は、たくさんの児童生徒の心に残りました。



何度も何度も、繰り返しボールを持ってチャレンジしました。



ゴールにねらいを定めて、シュート！！

1 月行事予定

- 10日(火) 始業式 短縮校時
- 11日(水) 短縮校時
- 12日(木) 給食開始 月曜校時
- 13日(金) スクールソーシャルワーカー相談日
- 20日(金) 中高)和太鼓鑑賞
- 23日(月) 給食月間(～2月末)
- 24日(火) 高)参観日(2校時)
PTA 年金セミナー(11:00～12:00)
- 27日(金) 小)ブックトーク
中)参観日(舞ショップ)10:50～
中3)制服・作業服採寸 11:30～
- 28日(土) 舞鶴市連合作品展(総合文化会館～29日)
教育美術展(京セラ美術館～29日)
- 30日(月) 小)参観日2,3校時(6年生制服採寸)



3 学期 主な行事予定

- < 2月 >
- 2日(木) 高等部入学選考
- 6日(月) 高等部入学選考予備日
- 15日(水) 入学説明会
- 16日(木) 小)6年生を送る会
高)舞鶴市西市民プラザ販売会
- 17日(金) 入学説明会予備日
- < 3月 >
- 3日(金) 中)3年生を送る会
- 16日(木) 卒業証書授与式
- 17日(金) 個別懇談
- 20日(月) 個別懇談

